

平成 30 年 夏の虫観察会 当日の様子 8 月 25 日 (土)



講師紹介と講師のあいさつ。



水槽の中にユスリカとマツモムシ



クヌギには虫こぶのクヌギエダイ
ガフシがつく。



カラムシは、フクラスズメやアカタテハの幼虫のえさになる。



クヌギの樹液にさまざまな昆虫が集まってくる。



サクラの枝にムネアカアワフキムシの痕跡が残っているので、見てみましょう。





エノキの若木に外来種のアカボシゴマダラの幼虫が目立った。



休憩をしていたら、クヌギからアオイラガの幼虫が落ちてきた。



参加者の感想を聞く。